

令和3年3月末の特殊詐欺被害発生傾向（暫定値）

◇認知件数 **36件**（前年比**-4件**）

※ 認知件数のうち、キャッシュカードなど対象の被害は61.1%（22件）を占めます。

◇被害額 **7,915万7,553円**（前年比**+約1,443万円**）

※ 1件あたりの被害額219万円余り、1件で4,000万円を超える高額被害も発生しています。

やっぱり「キャッシュカード」が狙われている！！

県内では、地域で実在する百貨店の従業員を名乗って、「キャッシュカードが不正に利用されている。」
「交換のため、キャッシュカードを預かる。」
などと電話で言われ、キャッシュカードをだましとられる被害が多く発生しています。

他人に暗証番号を聞かれても

暗証番号は教えない！！

自宅を訪ねてきた者に

キャッシュカードは渡さない！！



被害防止には電話対策！

だましの始まりは、電話からです。



犯人からの電話を受けなければ、キャッシュカードの暗証番号を聞かれることも、カードを渡すように言われることもありません。

物理的に犯人と話をする機会をシャットダウンできるのです。

常時留守番電話設定や**特殊詐欺電話対策機器の活用**などで、自宅固定電話への詐欺の電話をブロック！！

一部の市町村や長野県警察で、詐欺の電話を受けないための機器を貸出していますので、お住いの市町村や最寄りの警察署へお問い合わせください。